

福 NPB12球団ジュニアトーナメント第20回記念大会
福智の若鷹が全国に羽ばたき優勝

NPB12球団ジュニアトーナメントが12月26日～29日で明治神宮野球場で行われ、福岡ソフトバンクホークスジュニアが15年ぶり二度目の優勝に輝きました。この大会に金田ジュニアクラブの森三千哉もりみちやさんがチームの一員として出場。森さんは持ち前の守備力で何度もピンチを救い、勝利に大きく貢献しました。



↑アピールポイントは、攻めの走塁と守備力という森三千哉さん。投打は右右。

↓宿泊学習の二日目には、大分県くじゅう森林公園スキー場での雪遊びに大興奮。



兄 福智町・中城村交流事業「少年の翼」
兄弟都市で共に学び心つなげた交流事業

地域交流センターで1月24日に沖縄県中城村との交流事業「少年の翼」の対面式が行われました。中城村から来町した子どもたち9人は、受入れ家族との緊張の顔合わせをし、2泊3日の宿泊学習を実施。夏の交流事業で出会った友達との再会や中城村では経験できない雪遊びを通して、子どもたちの絆は更に深まりました。

↓ブラックシアター実行委員会14人が蛍光塗料とライトを使って、幻想的な空間を演出。



暗 ブラックシアター上演会「スイミー」
暗闇の中で輝く魚に魅了された上演会

ブラックシアター実行委員会主催のブラックシアターによるスイミー上演会が2月5日に金田義務教育学校で行われ、前期課程の1年生から6年生409人が鑑賞しました。1997年に金田小学校PTA図書委員会が始めたという上演会。子どもたちは暗闇の中で、鮮やかに光る魚たちの泳ぐ姿に、惹きつけられました。

あ 第18回 上野焼バレンタイン猪口展
あなただけの陶器に出会える猪口展

「上野焼バレンタイン猪口展」が2月1日から14日まで上野焼陶芸館で行われました。8窯元の計400点の定番のハート型や今年の干支(巳)をあらわしたオシャレでユニークな猪口(チョコ)が勢ぞろい。大切な人や自分への贈り物として、世界に一つだけのお猪口(チョコ)を求めて、町内外から多くの方が足を運びました。



↑ アウトレット北九州や小倉城しろテラス、アクロス福岡、八女伝統工芸館でも販売。

↓ 協定締結式に参列した(写真⑥から)古川宏一郎社長、黒土孝司町長、加藤寿一選手(背番号:33)。
福智町・ライジングゼファーフクオカ株式会社
フレンドリータウン協定締結式



バ フレンドリータウン協定
スケを通して地域をより熱く

B.LEAGUE (B2) 所属の「ライジングゼファーフクオカ」を運営するライジングゼファーフクオカ株式会社と福智町が、2月13日に「フレンドリータウン協定」を結びました。これから「地域貢献活動、地域の活性化に関すること」など全7項目において連携・協働する両者。「マッチデーやバスケ教室の開催などで相互の関係を深めていきたい」と力を込めました。

体 令和6年度 親子講座事業
体動かす楽しさ成功の喜び学ぶ運動教室

町青少年育成町民会議主催の「親子で運動あそび〜できるかも?!大作戦!!〜」が、2月1日に地域交流センターで開かれました。参加した3歳から小2までの子どもたちとその家族、約90組は日野彰太さんら講師陣の指導の元、跳び箱や縄跳びなどを体験。スポーツの楽しさやできたという喜びを親子で共有していました。



↑ 教室の最後に行われた全員参加による「大玉転がし」に大人も子どもも大熱狂。

↓町代表の久富さんは、挑戦することの大切さを田川飛翔塾での経験を交えて発表。



次 第31回 少年の主張田川地区大会
世代を担う子どもたちが想いを主張

「第31回 少年の主張田川地区大会」が2月16日に福智町地域交流センターで行われ、田川市郡の各代表9人が日頃の想いを込めた主張を披露しました。福智町代表として、方城中2年生の久富ひさとみ奈美さんが出場。「挑戦すること」と題し、約170人を前に自身の想いを力強く主張し、会場は大きな拍手で包まれました。